

# 第37回通常総会を開催



▲通常総会風景

5月20日(金)16時より霞ヶ関ビル35階の東海大学校友会館(望星の間)において第37回通常総会を開催しました。当日の出席者は来賓、正会員1種、2種、3種、賛助会員等を含め50数名に達しました。

最初に、松尾会長から会員各位に対し、日頃からの協会事業に対するご理解とご協力に対する御礼の言葉と協会事業遂行についての関係官公庁等のご支援に対する謝辞が述べられました。そのあと、このたびの東日本大震災で被災された方々へお見舞いを申し上げられ、一日も早い復興を懇願されました。また、今年度一般社団法人へ移行するため、協会職員の一層の努力を尽くすとともに会員の皆様のご協力を重ねてお願いしたいとの旨の挨拶をされました。

続いて来賓の小池慎一郎港湾局 国際・環境課 港湾環

境政策室長より「日頃の海洋レクリエーション振興と港湾行政に対する支援・協力に対し御礼を申し上げます。また、東日本大震災で被害に遭われた方々に哀悼の意を表します。本日、総会が開催できたことにお喜び申し上げます……」と祝辞をいただいた後、議事が進められ、いずれの議事も全員異議なく承認され、滞りなく終了しました。

「役員の変更」では、副会長1名、理事7名、監事1名退任された方々に対し、松尾会長から長期に亘る協会運営の協力に対する感謝の表明がありました。

総会終了後、講演会に移り、「平成22年度プレジャーボート全国調査結果と今後の放置艇対策について」として小池室長から、スクリーンを使って詳細な内容の説明をいただきました。



▲松尾会長



▲小池室長



▲浅田副会長



▲協会職員（右から西島理事長、中井常務理事、向江事務局長）

午後6時から「東海の間・三保の間」に場所を移して懇親会を行いました。最初に、松尾会長が開会の挨拶を行いました。続いて、第3回理事会において新任された理事、監事の紹介と挨拶の後、今期で副会長を退任した浅田博新顧問が「37年前の協会発足の発起人の一人とし

て理事を務めてまいりました。協会のますますの発展を願う御礼の言葉といたします。」と挨拶を行いました。次に、近藤健雄新副会長の乾杯の音頭により会員と来賓の方々と和やかな歓談のひとときが過ぎされ、浅見守男新副会長の中締め挨拶で閉会しました。



◀懇親会風景